

2017年度 委員会事業報告書

担当専務理事 黒田恭弘
事務局 事務局長 平野伸弥

1. 委員会開催日 (12回)

1/15 2/21 3/8 4/21 5/26 6/27 7/14
8/26 9/23 10/21 11/16 12/21

2. 事業報告

- | | |
|-------------------------------|--------------------|
| ① 定時総会・臨時総会の担当 | 1月27日・8月18日・12月22日 |
| ② 賀詞交歓会(1月例会)の担当 | 1月16日 |
| ③ 西尾張6JC合同例会(9月例会)の担当 | 9月23日 |
| ④ 定款諸規定及び会員名簿の作成 | 2016年12月 |
| ⑤ 誕生日祝い品の選定 | 2016年12月 |
| ⑥ 基本資料の作成 | 1月 |
| ⑦ 委員会表彰及び100%出席祝い品の選定 | 12月 |
| ⑧ サマーコンファレンスの担当【横浜】 | 7月22日・23日 |
| ⑨ 第44回JC青年の船「とうかい号」の担当 | 5月28日～6月3日 |
| ⑩ 東海フォーラムの担当【愛知】 | 8月11日 |
| ⑪ 愛知ブロック名古屋会議の担当 | 2月10日 |
| ⑫ 総会の記録保管 | 1月・8月・12月 |
| ⑬ シニアクラブ総会の担当 | 1月16日 |
| ⑭ 西尾張6JC正副理事長会議の担当 | 通年偶数月 |
| ⑮ 総会・例会の出席者確認報告 | 通年 |
| ⑯ 定款諸規定の見直し | 通年 |
| ⑰ LOM運営マニュアルの見直し | 通年 |
| ⑱ 理事会議案の作成・精査 | 通年 |
| ⑲ 委員長副委員長セミナーの設営 | 2016年8月19日 |
| ⑳ 合同予定者委員会の設営 | 2016年9月 2日 |
| ㉑ 名刺作成の窓口 | 2016年 9月 |
| ㉒ ネームタグ、スローガンパネルの作成 | 2016年12月 |
| ㉓ 理事会ネームプレートの発注 | 2016年12月 |
| ㉔ 慶弔の窓口 | 通年 |
| ㉕ LOMポロシャツの発注 | 通年 |
| ㉖ 各諸団体の事業に関する窓口 | 通年 |
| ㉗ 新入会員の拡大 | 通年 |
| ㉘ 新入会員の育成 | 通年 |
| ㉙ その他の庶務(マイナンバー、会員名簿に関わる庶務含む) | 通年 |

3. 委員会メンバー

平野伸弥 浅井英昭 飯田匡崇 久保 馨

4. 反省点及び申し送り事項

事務局では、本年度中野理事長のスローガン「想いのチカラ～情熱が溢れ彩りある海部津島をつくる～」のもと、LOMの運営を行ってまいりました。

理事会の運営においては、資料の提出期限や配信期限を過ぎてしまうケースが度々ありました。事務局運営をするにあたり、期限については何度もご指導いただいたにもかかわらず、年間を通して改善していくことができませんでした。資料提出については、事務局から議案提出者への定期的な状況確認など能動的なアプローチができたのではないかと考えます。また、提出される議案に不備が多く、修正に多くの時間がかかってしまうことも問題点として挙げられます。不備の無い議案を提出いただくために、議案作成を指導する機会を設けるべきであることを申し送らせていただきます。しかしながら、根底には自分に対する甘えがあることを忘れてはなりません。修練を信条とする青年会議所において、最後まで甘えを捨てきれなかったことを猛省いたします。

総会においては、少ない事務局メンバーでの設営となり時間がかかってしまい、リハーサルの時間が十分に確保できない場面がありました。次年度以降も少数での設営が予測される中で、予め各委員長等に設営のご協力をお願いし、どのように動いていただくかを伝えておく必要があると考えます。

年初には当青年会議所にご理解とご協力を賜っている関係各所をお招きして賀詞交歓会を開催し、新春のご挨拶と2017年度の運動指針がより深く伝わる場を設けることができました。反省点としては、事務局は予定者段階から議案上程が多く、それらの議案と並行して賀詞交歓会の議案も上程しなければならず、最後の段階まで議案を作り込むことが出来なかったことです。特に参考資料が疎かであったと感じておりますが、賀詞交歓会の流れやイメージをより具体的にするのは司会シナリオや座席配置などの参考資料であります。議案作成段階で参考資料を細かく作り込むことで、余裕をもって当日の設営を行うことができると考えます。

西尾張6JC合同例会（9月例会）は、長男LOMとしてより多くのメンバーで参加しなければならない例会でしたが、年間を通じて最低の出席率となってしまいました。メンバーに西尾張エリアでの我われの立ち位置を訴えるだけでなく、そこで得られる学びやエリア同士の友情について伝えていくべきであったことを申し送らせていただきます。

第44回JC青年の船「とうかい号」では、現役メンバーから小坂井敦則君、渡邊康弘君、一般乗船者として新入会員の石川裕之君、伊藤嘉孝君を輩出することができました。また、有志のメンバーで寄港地の上海でお出迎えをし、輩出した乗船者の方々から嬉しかったという声を聞くことができました。寄港地でお出迎えがあるかないかは、乗船者にとって大きく違いがあることを実感しました。

慶弔の窓口については、訃報連絡が届かなかった、まだ来ていないなどの声をいくつかいただいております。訃報連絡の送信先を再度事務局員と確認し、確実に連絡を送るよう再度徹底する必要があります。訃報連絡のスピードに関しては、そのやり方を把握しているメンバーがごくわずかであり、そのメンバーの状況次第で訃報連絡のスピードが変わるという問題があります。本年度は専務理事が訃報連絡の管理を行っておりますが、委員長以上の役職は訃報連絡の流し方を覚えて、事務局近くにいるメンバーで即座に対応する体制を構築すべきであると考えます。

LOMポロシャツについては、本年度デザインを一新しました。報告事項で上程をさせていただきましたが、受益者負担で購入する以上、全員の意見を聞くべきではないか、現在のLOMポロシャツを作成した先輩に声掛けはしてあるのか、という意見がありました。その後、メンバーからの意見を集約し、作成者である山田篤先輩にお話をさせていただきました。また、JCIロゴマークがガイドラインに則ったものではな

く、再度修正をすることとなりました。作成後は定款第43条を適用し、報告事項は割愛しましたが、以上のプロセスについては適切でなかったと反省しております。今後このようなことが想定される場合には、作成するもののデザイン費をLOMで計上し、協議議案から上程し、審議を経て作成後には報告事項で上程する流れを予定者段階で完結させることが適切であると考えますので、申し送りさせていただきます。

本年度、変革した部分も多くありましたが、理事会運営に始まり会員データベースの運用や基本資料の精査など、事務局として確実な運営をしなければならいところでそれができていない部分がありました。至らなかった点をしっかりと反省したいと思います。そして、構想のみで達成することは出来ませんでした。事務局のデータベースにアクセスするためのメンバー専用ページを作成し、コンテンツを充実させることでLOMを更なる進歩へと導くことができると思います。

以上を反省点及び申し送り事項とさせていただきます。

5. 委員長所見

本年度、55周年を迎える当青年会議所の事務局長として、新たな組織の在り方を模索し更なる進歩へと導くべく活動してまいりました。それは、新アジェンダシステムの運用に始まり、例会の案内文のメール返信や会員手帳のオンライン化など、事務局運営にITを積極的に活用し効率化を図ることです。それぞれに機能した点、そうでない点はあるであろうが、近い将来には、議案データやLOM内情報のクラウド管理、さらにはオンラインでの理事会の開催やネット配信というようなことが容易に予想されます。当然、規律と原則に基づいた運営は変わることはないが、本年度の活動において、そういった次代へ向けて課題を抱えながらも新たな一歩を踏み出すことが出来たと確信しております。また、年間を通して更なる進歩へと歩みを進めた一方、資料提出期限の厳守や的確な事務局運営には及ばず、ハード面の利便性が高まっても、それを使う人の資質を高めなければそれらは全く意味のないものになってしまうことも痛感しました。そういった経験を通して、変わらない本質というのは個人の修練であることに行きつきました。

最後に多くの時間を共にした事務局メンバーには感謝の言葉しかありません。決して出来の良い事務局長ではありませんでしたが、皆様のお支えをもって勤め上げることが出来ました。一年間誠にありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	94,456	事業費	76,558	④	1,600	④	400
				⑤	34,000	⑤	30,400
				⑥	8,856	⑥	8,856
				⑦	50,000	⑦	36,902
合 計	94,456	合 計	76,558	合 計	94,456	合 計	76,558